

4 月のマーケット見通し

<米国・欧州他>

インフレ懸念に伴う米国の利上げとウクライナ情勢およびウクライナ情勢を受けたエネルギー市場の動向が、現状最大の株式市場変動要因であろう。新型コロナウイルスについては、新規感染者数がピークアウトした国・地域で規制を緩和する動きが出ており、このリスクに対する警戒感は後退している。前述の事象を含め、考えられる調整要因は以下のとおりである。

① 金融政策

3月15日、16日に開催された米 FOMC で予想通り政策金利が 25BPS 引き上げられた。ドットプロットでは、2022 年は 7 回、2023 年は 3.5 回の利上げが示され、結果としてはかなりタカ派的と言える。また、FOMC 後も FRB 高官かタカ派的な発言が相次いでいるが、2020 年 3 月来のゼロ金利政策から脱却したことで、むしろ反応は鈍化してきている。但し、ウクライナ情勢やエネルギー市場の動向など不確実な要因が利上げペースに影響を及ぼす可能性は残る。欧州においては、インフレ上昇への警戒感から英国が 3 回連続の利上げを実施している。また、ECB においても、2022 年度中の利上げの可能性は低いとの見方を示していたラガルド総裁の発言にトーンダウンがみられ、また他の ECB 高官からも利上げが必要との発言が見られる。ウクライナ情勢に端を発するエネルギー価格の上昇を抜きにしてもインフレ高止まりの可能性が強まっており、2022 年度中の利上げを予測する向きも増えてきている。

② ウクライナ情勢とエネルギー問題

ウクライナへのロシアの軍事侵攻は少なからず市場混乱の要因となっている。当初は、戦争そのものの市場心理への影響が大きく、リスクオフの動きを加速させ、市場急落の要因となつたが、市場の焦点は、エネルギー市場の不安定な推移やそれがもたらす経済への実質的な影響へと移ってきており。西側諸国の経済制裁により、エネルギーの供給面での懸念が拡大しており、エネルギー価格は急騰し高止まりの状況にある。今後、ロシアの経済制裁への対抗策や西側諸国のエネルギー政策/対策の行方をにらみながら神経質な展開となろう。

③ オミクロン株

オミクロン変異株の新規感染者数にピークアウト感が出てきた国・地域が拡大傾向にあり、欧米各国で規制緩和の動きが本格化している。現状、市場への影響はかなり限定的となっているが、フランスでは再度感染者が拡大しており、マスク着用の義務化など規制措置も検討されている。今後しばらくは懸念材料のひとつであり続けることに変わりなく、他国への波及状況や市場への影響等注視する必要がある。

④ 雇用関連指標

3月開催の FOMC 後の声明では、労働市場の改善が進んでいることが示された。また、FRB が利上げに踏み切ったことにより市場の雇用関連指標への感応度は幾分鈍化した感がある。今後、大幅な上振れがない限り、市場混乱要因となる可能性は低くなった思料する。

市場の調整をもたらす要因の中で、比較的影響度が強いのは、金融政策とウクライナ情勢およびエネルギー問題と思われる。ロシアによるウクライナへの軍事進攻については予想が困難であり、当該リスクがエネルギー価格の高騰をもたらすことから、最も注視すべき事象である。

〈ベトナム株式市場〉（2022年3月1日～3月25日）

■市況

3月前半のベトナム株式市場は、経済のリオープニング機運の高まりが株価を下支えた。政府は3月1日、新型コロナ入国制限を緩和し、一日あたりの入国者数上限を引き上げたほか、ワクチン3回接種で待機期間を免除したことを市場は好感し堅調なスタートとなった。しかし、原油や石炭、鉄鋼価格の下落によって、これまで恩恵を受けていた関連銘柄の巻き戻し売りが背景となり、大きく下落する場面があった。その後15日にベトナム保健省は、新型コロナの入国手続きについて、入国者に対するワクチン証明と隔離措置の取り下げを正式に発表したこと、経済のリオープニングへの姿勢が好感された。

月後半になると、海外市場の好調がベトナム市場を支えた。米連邦準備制度理事会が政策金利を予想通り0.25%引き上げたため不透明感が後退したことや、ウクライナ情勢においても、講和協議の進展期待が高まったことやロシア国債の利払い完遂などが安心感に繋がった。

3月25日現在、ベトナム株式市場のVN指数は前月末比、0.56%高の1,498.5ポイントで引けている。

■今後の見通し

2022年2月のPMI(製造業購買担当者指数)が前月比+0.6ポイント上昇の54.3だった。5か月連続で50を上回ったことでベトナム経済が好調を維持していることや、ガソリンなどの石油製品に対する環境保護税の50%引き下げ決議の承認による積極的な経済政策、加えてVN指数の本年度PER予想が13倍と比較的割安なことから、更なる上昇が期待できると考える。

以上

筆者 調査部

各国の株価

3/25

銘柄名		株価	前月末比	3か月前比	12か月前比
日経平均株価	NKY	28,150	3.8%	-2.2%	-3.5%
TOPIX	TPX	1,981	3.0%	-0.3%	-0.1%
NYダウ	INDU	34,861	2.3%	-3.0%	5.4%
SP500	SPX	4,543	4.5%	-3.9%	14.3%
NASDAQ総合指数	CCMP	14,169	4.6%	-9.5%	7.8%
STOXX欧州600指数	SXXP	454	-1.6%	-6.0%	6.2%
ハンセン指数	HSI	21,405	-12.0%	-7.8%	-24.5%
上海総合指数	SHCOMP	3,212	-8.0%	-11.2%	-6.0%
MSCIアセアン	MXSO	711	-3.4%	2.1%	-2.3%
フィリピン総合指数	PCOMP	7,125	-4.0%	-0.8%	8.9%
ベトナムVN指数	VNINDEX	1,499	-0.4%	1.5%	28.9%
ジャカルタ総合指数	JCI	7,003	1.6%	6.7%	13.0%
タイSET指数	SET	1,677	-2.1%	2.4%	6.5%
インド・センSEX指数	SENSEX	57,362	-0.8%	-3.8%	17.0%

各国の10年債金利

3/25

銘柄名	コード	レート	前月末	3か月前末	12か月前末
日本10年指標債	GJGB	0.24%	0.22%	0.07%	0.08%
米国債10年	USGG	2.47%	1.93%	1.49%	1.68%
ドイツ国債10年	GDBR	0.59%	0.19%	-0.25%	-0.35%
フランス国債10年	GFRN	1.02%	0.69%	0.12%	-0.10%
スペイン国債10年	GSPG	1.44%	1.20%	0.51%	0.29%

各国の為替レート

3/25

通貨	コード	為替レート	前月末比	3か月前比	12か月前比
米ドル	JPY	122.05	6.1%	6.7%	11.3%
ユーロ	EUR	134.04	2.9%	3.5%	3.6%
ユーロ/米ドル	EURUSD	1.10	-3.0%	-3.0%	-6.9%
ドル指数	DXY	98.79	2.9%	2.9%	6.5%
タイバーツ	THB	3.63	1.6%	6.2%	3.1%
人民元	CNY	19.13	5.2%	6.5%	14.1%
フィリピンペソ	PHP	2.33	4.2%	2.1%	3.6%
ベトナムドン(100)	VND	0.53	5.6%	6.6%	12.0%
インドネシア・ルピア(100)	IDR	0.85	6.0%	5.6%	11.9%
インド・ルピー	INR	1.60	3.9%	5.0%	5.9%

コモディティ価格

3/25

銘柄名	コード	価格	前月末比	3か月前比	12か月前比
WTI 原油	CL1	113.9	25.1%	54.4%	86.8%
NY天然ガス	NG1	5.6	25.7%	49.3%	117.9%
金スポット	XAU	1,958.3	3.2%	8.2%	13.0%
プラチナスポット	XPT	1,005.4	-6.2%	3.0%	-15.4%
LME銅	LMCADY	10,249.0	2.4%	6.8%	14.3%
LMEニッケル	LMNIDY	35,468.0	44.1%	76.1%	117.0%
CBT小麦	WA	1,102.3	37.1%	34.7%	76.4%
CBT大豆	SA	1,710.3	6.7%	26.8%	43.9%
CBTコーン	CA	754.0	15.5%	24.2%	57.2%
NYB砂糖	SBA	19.6	11.3%	3.9%	35.0%
NYBコーヒー	KCA	221.9	-9.8%	-4.0%	61.2%